



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,028	△3.7	228	48.6	182	20.2	160	8.5
28年3月期第1四半期	2,106	41.3	153	—	151	—	148	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 113百万円 (△23.9%) 28年3月期第1四半期 148百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	26.09	—
28年3月期第1四半期	24.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
29年3月期第1四半期	11,256	—	6,726	—	59.8	1,092.19	—	
28年3月期	11,859	—	6,859	—	57.8	1,113.83	—	

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 6,726百万円 28年3月期 6,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,800	△3.5	400	△33.3	350	△39.6	250	△55.8	40.59
通期	10,000	△1.0	950	△20.9	900	△21.4	700	△40.7	113.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	6,499,000 株	28年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	340,287 株	28年3月期	340,287 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	6,158,713 株	28年3月期1Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足説明	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)における世界経済は、中国を中心とした新興国経済が前期後半の急速な冷え込みから持ち直しの動きを見せ、市場環境は緩やかながら改善傾向となりました。また、米国の堅調な景気拡大など、先進国経済は底堅く推移しました。一方で、中東の情勢不安に起因する地政学リスクの高まりに加え、欧米の今後の政治体制への不安が散見されるなど、経済を下押しするリスクが高まってきており、先行きは不透明な状況にあります。国内経済については、為替が全体としては円高に進行し、またその変動が激しく予断を許さない状況にあります。景気全般としては緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン・車載関連の需要が堅調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を牽引しました。しかしながら、為替動向や景況の先行き不透明感が強まる中で、各デバイスメーカーとも部品需要の底堅さを認識しつつも、今後の見通しについては慎重な姿勢を崩さず、増産のための設備投資に関しては弱い動きとなりました。一方で、デバイスメーカー各社の次世代製品に向けた開発意欲は継続され、当社グループに対するサンプル成膜の依頼等は堅調に推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは、好調な市場を捉え既存分野への深掘りに取り組み拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に引き続き注力しました。次世代製品に向けたデバイスメーカーからの依頼実験への対応や製品開発にも積極的に取り組みました。また、新製品として光学薄膜形成装置「Genesis-AR Series」をリリースしました。

生産面では、前期の受注残により稼働率は良好に推移しました。また、ユーザーからの意見等を踏まえ、機種ごとにメンテナンス性の改善や社内検査の強化等を実施することで、さらなる品質向上に取り組みました。

損益面では、安定した稼働率とグループ一丸となって取り組んでいるコストダウンの推進等により利益率の改善に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は17億86百万円(前年同四半期比47.0%減)、売上高は20億28百万円(同3.7%減)となりました。

損益につきましては、経常利益1億82百万円(前年同四半期比20.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億60百万円(同8.5%増)となりました。

セグメント別の状況はとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、スマートフォン向け電子部品製造用装置を中心に推移しました。売上計上が第2四半期以降にずれ込んだ案件が一部ありましたが、売上高は概ね順調に推移しました。一方、受注に関してはデバイスメーカー各社ともに増産設備にやや慎重な姿勢となり弱含みで推移しました。

受注高は14億16百万円(前年同四半期比52.8%減)、売上高は16億57百万円(同4.5%減)、セグメント利益は3億48百万円(同21.2%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、主に周波数調整工程向けの最新装置の拡販を推進してまいりました。TCXO(温度補償水晶発信器)の需要増などもあり、設備投資の動きが活発に推移しました。

水晶デバイス装置の受注高は6億68百万円(前年同四半期比115.9%増)、売上高は5億73百万円(同67.1%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、マイクロカメラレンズ向けの反射防止膜成膜用装置を中心に受注活動を展開し堅調に推移しました。

光学装置の受注高は5億37百万円(前年同四半期比1.7%増)、売上高は3億47百万円(同0.3%増)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、既存技術応用分野及び新規市場の開拓に注力しましたが、各デバイスメーカーが増産設備投資への慎重な姿勢を見せたことや、前年同四半期好調に推移したスマートフォン向け圧電部品の製造用装置の反動減により、受注・売上ともに前年同四半期に対して減少となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は2億10百万円(前年同四半期比90.3%減)、売上高は7億36百万円(同29.5%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する当社装置の稼働状況の定期的な確認を励行するとともに、生産終了にともなうサポート終了品の案内及び更新機種提案を積極的に行い、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は3億70百万円(前年同四半期比0.0%増)、セグメント利益は82百万円(同37.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は80億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億12百万円減少しました。これは受取手形及び売掛金が1億77百万円増加したものの、現金及び預金が8億44百万円減少したことによるものです。固定資産は32億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加しました。これは主に投資有価証券が20百万円減少したものの、有形固定資産が30百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は112億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は39億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億64百万円減少しました。これは主に賞与引当金が1億53百万円、未払法人税等が1億33百万円、役員賞与引当金が86百万円減少したことによるものです。固定負債は5億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少しました。これは主に長期繰延税金負債が7百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は45億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億70百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は67億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億33百万円減少しました。これは主に利益剰余金が85百万円、為替換算調整勘定が34百万円減少したことによるものです。

負債も減少した結果、自己資本比率は59.8%(前連結会計年度末は57.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成28年5月12日付「平成28年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,117,294	3,273,213
受取手形及び売掛金	2,358,353	2,536,070
商品及び製品	4,295	4,328
仕掛品	1,752,923	1,851,520
原材料及び貯蔵品	139,269	133,299
繰延税金資産	227,608	206,324
その他	72,925	53,144
貸倒引当金	△46,043	△43,897
流動資産合計	8,626,626	8,014,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	674,867	655,680
機械装置及び運搬具(純額)	136,603	119,026
土地	2,066,249	2,066,249
その他(純額)	106,311	173,209
有形固定資産合計	2,984,032	3,014,166
無形固定資産		
リース資産	16,916	15,531
ソフトウェア仮勘定	45,618	48,218
その他	28,520	27,183
無形固定資産合計	91,055	90,933
投資その他の資産		
投資有価証券	146,897	126,754
その他	11,501	10,973
貸倒引当金	△211	△211
投資その他の資産合計	158,186	137,516
固定資産合計	3,233,274	3,242,616
資産合計	11,859,901	11,256,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,058,523	2,087,844
短期借入金	197,572	197,572
1年内償還予定の社債	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	19,138	19,138
未払費用	186,100	164,293
未払法人税等	150,303	16,519
賞与引当金	249,569	95,823
役員賞与引当金	86,000	-
製品保証引当金	102,000	82,000
工事損失引当金	29,830	65,740
その他	350,681	236,228
流動負債合計	4,429,721	3,965,161
固定負債		
リース債務	43,465	38,681
繰延税金負債	35,493	28,401
退職給付に係る負債	411,583	417,921
長期末払金	75,607	75,704
その他	4,250	4,250
固定負債合計	570,400	564,958
負債合計	5,000,121	4,530,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	1,999,918	1,914,272
自己株式	△278,137	△278,137
株主資本合計	6,652,861	6,567,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,084	59,101
為替換算調整勘定	124,273	89,709
退職給付に係る調整累計額	9,560	10,474
その他の包括利益累計額合計	206,918	159,284
純資産合計	6,859,779	6,726,500
負債純資産合計	11,859,901	11,256,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,106,085	2,028,551
売上原価	1,608,182	1,434,705
売上総利益	497,903	593,845
販売費及び一般管理費	343,962	365,030
営業利益	153,940	228,815
営業外収益		
受取利息	167	285
受取配当金	217	142
受取賃貸料	2,958	2,884
為替差益	8,791	-
物品売却益	-	2,951
その他	1,908	555
営業外収益合計	14,043	6,819
営業外費用		
支払利息	2,739	2,917
売上割引	2,623	3,002
為替差損	-	45,580
賃貸物件関係費	9,539	536
その他	1,114	886
営業外費用合計	16,017	52,924
経常利益	151,966	182,709
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	151,966	182,709
法人税、住民税及び事業税	10,677	1,655
法人税等調整額	△6,850	20,352
法人税等合計	3,827	22,007
四半期純利益	148,138	160,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,138	160,702

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	148,138	160,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	799	△13,983
為替換算調整勘定	945	△34,563
退職給付に係る調整額	△1,313	913
その他の包括利益合計	432	△47,633
四半期包括利益	148,570	113,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,570	113,069

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,735,526	370,558	2,106,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,420	2,707	7,127
計	1,739,947	373,265	2,113,213
セグメント利益	287,641	60,303	347,945

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	347,945
セグメント間取引消去	1,602
全社費用(注)	△195,606
四半期連結損益計算書の営業利益	153,940

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,657,971	370,579	2,028,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	132	2,532	2,665
計	1,658,103	373,112	2,031,216
セグメント利益	348,720	82,706	431,426

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	431,426
セグメント間取引消去	5,721
全社費用(注)	△208,332
四半期連結損益計算書の営業利益	228,815

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	573,420	167.1
光学装置	347,671	100.3
電子部品装置	736,880	70.5
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,657,971	95.5
サービス事業		
部品販売	213,712	103.2
修理・その他	156,845	96.6
サービス事業計	370,557	100.3
合計	2,028,529	96.4

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	668,480	215.9	907,358	125.2
光学装置	537,674	101.7	976,532	82.4
電子部品装置	210,044	9.7	1,190,044	42.9
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	1,416,198	47.2	3,073,934	65.6
サービス事業				
部品販売	213,734	102.7	—	—
修理・その他	156,845	96.6	—	—
サービス事業計	370,579	100.0	—	—
合計	1,786,778	53.0	3,073,934	65.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	573,420	167.10
光学装置	347,671	100.3
電子部品装置	736,880	70.5
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,657,971	95.5
サービス事業		
部品販売	213,734	102.7
修理・その他	156,845	96.6
サービス事業計	370,579	100.0
合計	2,028,551	96.3

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。